◇国語

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・複数のグラフや図表を使った教材が配置されている。また、図表を用いて情報を伝える学習活動がある。 ・読書に関する教材が各学年３か所ずつ掲載されており、長期休業前に合わせて本の紹介ができるようになっている。
学校図書	・「学びの窓」で交流や共有を軸とする言語活動を通して、言語感覚を磨き、思考力や想像力、批判力を高め、「生きる力」を育む構成となっている。 ・古典教材の前に、古典に関連する説明文が取り上げられている。３年生では明治期の文語文で書かれた教材も掲載されている。
三省堂	・各教材の冒頭と最後に「つけたい力」を示し、「読み方を学ぼう」で読みの方法を意識しながら学習できる流れになっている。 ・「話すこと・聞くこと」の学習活動を支える言語活動例として、ビブリオバトル（＊１）やワールドカフェ（＊２）のような新しいスタイルも取り入れられている。
教育出版	・小学校で学んだことの振り返りと中学校国語で学ぶことが学習の「導入単元」として配置されている。 ・「読むこと」は各教材に課題解決の道筋に沿って「確かめよう」「深めよう」「考えよう」という学習ができるようになっている。
光村図書	・全学年で東日本大震災をテーマとした「言葉」「情報」に関連する教材が扱われている。人の生き方に焦点を当てた、多様な作品が掲載されている。 ・各学年「読書生活を豊かに」と「読書に親しむ」の２つの単元として、読書教材が系統化されている。また、それぞれ単元ごとに「読書案内」が設定されている。
その他の主な意見	
・学校や家庭で学習するときの支えとして活用できる資料編は重要である。東京書籍や三省堂、光村図書は自分の考えを広げたり深めたりする手立てが充実している。 ・話を聞くこと、伝えることも大事である。相手の立場を考えて意見を言えるようになってほしい。東京書籍では、相手の立場に立つということに重点を置いている。 ・光村図書は、文学作品として定評があるものが多く取り上げられている。 ・鑑賞したことを文章に書くという活動では、光村図書では根拠のまとめ方が丁寧に示されており、三省堂では感想文の例が非常に分かりやすい。	

＊１　「人を通して本を知る、本を通して人を知る」を合い言葉にして、全国各地で行われている書評合戦ゲーム。

＊２　「問い」をもとに、多人数で知恵を生み出す話し合い方法の一つ。

◇書写

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・鉛筆や筆の持ち方が実物大のイラストで示されており、子ども自身が正しい持ち方になっているか確かめやすい。 ・手本の横に、書くときのポイントが書かれており、大事なところを意識して取り組める。
学校図書	・第１学年で、中国の書家の楷書と行書を学ぶことを通して、文字文化の理解を図る内容が扱われている。 ・礼状やのし袋、荷造り状など学校生活や日常生活に関する内容が、第３学年で一括して取り扱われている。
三省堂	・「考えよう・話し合おう」から学習に入り、「振り返ろう」で終わる流れで、学習者が主体的に学べるよう配慮されている。 ・毛筆で学習した文字を硬筆で書く欄があり、毛筆の学習のねらいを硬筆でも生かして書くことを意識させるようになっている。
教育出版	・見開きの右ページに毛筆の手本があり、左ページでは毛筆の学習を硬筆の学習に生かせるような工夫がされている。 ・各学年のページでそれぞれ書写を生活に生かした例や文化を紹介する内容が記載されている。
光村図書	・楷書と行書が並べられており、楷書と比較してその違いを考えて書くことができるようになっている。 ・中学３年間の学習について、全体を見通すページと振り返るページが掲載されている。

その他の主な意見

・筆使いについては、墨の濃淡を使って筆先が分かるように示してあるのは良い。特に光村図書と東京書籍は筆の運びを「トン」や「スー」といった音で表現している。小学校の指導で行っていることなので、分かりやすい。
・導入期においては見やすい大きめのお手本が大事だと思う。特に東京書籍と学校図書は実物大に近い手本を多く取り入れている。
・国語と書写の発行者が異なったとしても大きな問題はない。
・卒業した後も役に立つという観点で、東京書籍や光村図書は、文章構成や封筒の書き方など細かく載っていて良い。

◇社会（地理的分野）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・「深めよう」やコラムで、今日的課題や地域のあり方に対して、主体的に社会に参画する意識を高められるような工夫がされている。 ・学習課題ごとに説明、要約等の短時間で取り組める「確認」と単元末のまとめが段階的に配置され、言語活動を行いながら、思考力、判断力、表現力が育成されるように工夫されている。
教育出版	・身近な地域の特色や課題に対する関心を高められるよう、「日本の諸地域」の各地方の学習の終わりに「現代日本の課題を考えよう」という学習テーマが設けられている。 ・見開きごとに設けられた「ふりかえる」のコーナーや章末の「学習のまとめと表現」では、自分なりの言葉で説明する活動や考察したことを表現させる言語活動が取り入れられている。
帝国書院	・自然、産業のページを充実させ、写真・図版を大きくする等、地域の様子がつかみやすいような工夫がされている。 ・学習課題ごとに設けられた「確認しよう」や「説明しよう」では、学習内容を整理し、自分の言葉で説明したり、考察したりするなど、言語活動を促す配慮がされている。
日本文教	・世界各地の人々の生活と環境では、森や海に生きる人々など、様々な人々の暮らしに着目し、多文化共生社会の重要性を認識できるように工夫されている。 ・学習課題に対応した「学習の確認と活用」や単元末の「学習のまとめ」では、学習内容をまとめたり、身につけた知識を活用して表現したりできるように工夫されている。
その他の主な意見	
・教育出版、東京書籍、日本文教出版では世界の諸地域というところを地域ごとに大きな地図を掲載して、その地域の地形や国名等が理解しやすいようになっている。 ・日本文教出版は、都道府県別の花や木や鳥について資料に載せている。教育出版、東京書籍は巻末に国別や県別の統計資料があり、調べ学習で役に立つ。 ・各者とも見開きで１単位時間という構成になっており、単元末のまとめが用意されている。 ・帝国書院や東京書籍は、気候の説明に地形の断面図を使ったり、ヒートアイランドの様子を色分けしたり、内容が理解しやすいようになっている。 ・東京書籍は多面的に学習できるように内容が段階的に配列されている。帝国書院は写真や資料についての説明が丁寧である。	

◇社会（歴史的分野）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・小学校の学習からの移行を考慮し、各章のはじめには既習学習を振り返るページが設けられている。 ・各章の「歴史探検隊」で、資料の見方や調べ学習の方法を紹介するとともに、郷土史への関心を高めるように工夫されている。 ・戦後以降の現代史が全紙面に占める割合が比較的高い。
教育出版	・年表が折り込みになっており、一目で全てを見られるのが特長である。また上段に国内、下段に世界の歴史を掲載し、見やすくなっている。 ・学習しているところが年表のどこに位置づけられるのかが、見開きのテーマの枠に示されている。 ・各章末に時代を大観する構造図を元に時代の特色を考察し、表現する活動が取り入れられている。
清水書院	・サイズがコンパクトで、本文、資料ともに精選され、すっきりとした印象を受ける。 ・本文は基礎基本事項を盛り込み、平易な文章で表現されている。 ・見開きごとに、始めに問いかけをして学習課題を明確にし、終わりに学習内容をまとめたり、考えを表現したりするための具体的な問いかけが設けられている。
帝国書院	・「タイムトラベル」というコーナーには、各時代がイラストで表され、生徒に考えさせたいことが随所にちりばめられている。 ・見開き右下の振り返りでは、基礎的、基本的な事項の確認と、説明等を行う応用の２ステップになっている。 ・戦後以降の現代史が全紙面に占める割合が比較的高い。
日本文教	・小学校との接続を考慮し、イラストをふんだんに用いて小学校で学んだ主な出来事や人物について思い出させる工夫が見られる。 ・紙の質、図版の色など、カラーの部分が豊富な割に、目に優しい印象である。 ・大きく時代をとらえ、時代の転換点や特色について考え、表現する言語活動が設けられている。
自由社	・コンパクトなサイズであり、地図や資料はシンプルで読み取りやすい。本文は事実の羅列ではなく、ストーリー性のある読み物の形式となっている。 ・各章のまとめが用語解説集となっており、基礎的、基本的な事項の確認ができるようになっている。 ・歴史学習における調べ方やまとめ方が丁寧に書かれている。
育鵬社	・年表に特色があり、日本と世界の政治的、文化的な交流について矢印を用いて示されている。 ・見開き右下には、本時の学習課題に対して、話し合いや説明等の言語活動を促すコーナーがある。 ・章末には人物に関する資料「なでしこ日本史」があり、学習への生徒の興味関心を高める工夫が見られる。
学び舎	・判型がＡ４サイズとなっており、図版も大きく、実物大の写真も掲載されている。 ・歴史上の人物については、指導的な立場の人物のみならず、様々な人々の生活や社会的な業績が記述されている。 ・１年生の前半に学習する部分は漢字などの表現が易しくなっている。

その他の主な意見

・教科書のサイズは３種類あるが、ＡＢ版の東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社、Ａ４版の学び舎は、写真や図版が大きくて見やすい印象である。

・各者とも見開きの最後には、本時の学習を振り返るコーナーがある中、知識理解の定着を促す学習の確認と、説明等の言語活動を行う応用の２ステップになっているのが、教育出版、帝国書院、日本文教出版に見られた。生徒の基礎基本の定着に役立つのではないか。

・これからの他国とのよりよい関係を築くためにも、現代史はじっくり学習してほしい。戦後以降の現代史が全紙面に占める割合が比較的高いのが、帝国書院、東京書籍、日本文教出版であった。

◇社会（公民的分野）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・各章の最初には既習の知識を引き出すキーワードを設け、生徒が興味、関心をもてるような工夫をしたり、各章の振り返り問題では学習内容を多面的、多角的にまとめ、確認できるような工夫がされている。 ・「公民にチャレンジ」では、具体的な課題を取り上げ、話し合いや発表などの言語活動ができるように工夫されている。
教育出版	・「ふりかえる」では、言葉や説明により学習の確認ができるように工夫されている。 ・章末には、基礎基本の定着を踏まえながら、言葉による学習のまとめができるように配慮されている。また、「言葉で伝え合おう」では、多様な表現活動が行われるよう工夫されている。
清水書院	・「もっと知りたい公民」において、学習内容に関係するわかりやすい事例を載せ、社会的事象についての基礎的な知識を得やすいように工夫されている。 ・終章では、学習のまとめとして「卒業論文を書いてみよう」という課題について、まとめ方の手順が示されている。
帝国書院	・見開きの主題ごとに「学習課題」を問いかけで示している。また、学習内容の要点を把握するために「確認しよう」が設けられている。 ・特設ページ「トライアル公民」には、意見をまとめ話し合うための題材が用意されているなどの工夫がされている。
日本文教	・「公民ズームイン」では、学習内容を多面的、多角的に捉えさせるため、具体的なテーマを扱えるように配慮されている。 ・「学習の確認と活用」では、言葉や説明により学習の確認ができるよう工夫されている。
自由社	・「もっと知りたい」では、学習内容を関連づけながら、近年取り上げられる話題を例に挙げ、多面的、多角的に捉えられる工夫がされている。 ・「課題の探求」では、レポート作成やディベートを通して表現力を高める工夫がされている。
育鵬社	・各章末の「学習のまとめ」では、既習の知識の確認だけでなく、重要語句の確認もできるように配慮されている。 ・「考えよう」「やってみよう」では、思考力、判断力、表現力を深める工夫がされている。

その他の主な意見

・　東京書籍にある各章のまとめや、日本文教出版のチャレンジ公民というところでは、繰り返し学習ができるような工夫がされている。

・　自由社や清水書院は「卒業論文を書いてみよう」ということで、言語活動が設定されている。また、東京書籍や教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社では、ディベートなどの表現活動を取り入れている。

・　各章のまとめとして重要語句を扱っている。特に東京書籍、日本文教出版、自由社、育鵬社、清水書院はその語句が大事だということがわかりやすい。

◇社会（地図）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・学習しやすいように、基本図や資料図の使用場面が示されている。 ・テーマごとに資料を検索できる「資料さくいん」が設定され、教科書での学習内容に適した資料が探しやすいように工夫されている。
帝国書院	・「やってみよう」「地図をみる目」などの学習課題コーナーが設けられ、地図帳で学習ができるような工夫がされている。 ・「さくいん」において、国名、都道府県名は赤文字で、首都名、都道府県庁所在地名は青文字で示され、また、世界遺産には印がついている。

その他の主な意見
・両者とも歴史的事象が起こった場所などが一目でわかるように地図上に示されている。 ・東京書籍は、キャラクターが出てきて、生徒に疑問を投げかけるという形で考える視点を持たせている。 ・帝国書院では、生徒が地域を多面的にとらえるような工夫がなされている。地域の産業等を具体的にとらえられる。

◇数学

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・「問」や「考えてみよう」では、自分の考えを説明したり、まとめたりする課題が取り上げられている。 ・細かい数値などを扱う計算で電卓を使用する活動が取り上げられている。また、コンピュータ使用の紹介が活用の場面で取り上げられている。
大日本図書	・「考えてみよう」「表現しよう」「深めよう」等で、説明する活動や、互いの考えを紹介し合う活動が取り入れられている。 ・導入が丁寧に記述され、「思い出そう」によって既習事項を振り返ることができるようになっている。
学校図書	・単元のはじめに「目標」マークの問題、「クローズアップ」、章末に「活用」マークのついた言語活動を伴う課題が設けられている。 ・数学的活動に対応した問題は、模範的な説明の仕方を例示するなど、数学における説明の仕方が身につくようになっている。
教育出版	・「問」や「伝えよう」では、自分の考えや、そう考えた理由を表現できるようになっており、数学の学習を通して他者とのコミュニケーションを学ぶ機会が設けられている。 ・巻末には「たしかめ」の補充問題を設定し、反復練習ができるように工夫されている。また、小学校算数を含む既習内容などは「もどって確認」等で取り上げられている。
啓林館	・「問」や「みんなで話し合ってみよう」、「自分のことばで伝えよう」では、いろいろな考え方や解決方法がある問題を取り上げ、説明し、伝え合う活動として取り組めるようになっている。 ・「問」と「基本のたしかめ」の問題を充実させ、学習を定着させる問題の「くり返し練習」や学習を習熟させるための「まとめの問題」が設けられている。
数研出版	・「伝え合おう」では、自分の考えを他者に説明したり、話し合ったりする活動を促す場面が設けられている。 ・巻頭には「クイックチャージ」として、前学年までの既習内容の確認などが設けられていて、必要に応じて復習ができるようになっている。
日本文教	・「説明しよう」「話し合おう」では、多様な考え方ができる課題が設定され、考え方を伝え合いながら学びを深めることができるようになっている。 ・個に応じた学習として、「問」を早く解き終わった生徒が自主的に取り組むための追加の問題として、小節の横欄に「チャレンジ」が設けられている。
その他の主な意見	
・東京書籍や日本文教出版は、各単元の練習問題の数が非常に多く設定されている。 ・啓林館は、別冊の「MathNaviブック」に自主的な学習や学びなおしができるような課題をまとめてあり、活用できるようになっている。 ・東京書籍では、例題と問題の間に「たしかめ」があり、学習の定着に役立つ工夫がされている。	

◇理科

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・探求活動の中に、言語活動を行う場面が設定され、科学的な思考力、表現力が育つように配慮されている。 ・「これまでに学んだこと」と「この単元で学ぶこと」を、写真や図を使って表し、小中学校での既習内容との関連性や系統性が示されている。
大日本図書	・計算問題では、小学校算数の学習を振り返りながら、例題と詳しい計算の仕方が示されている。 ・「章末問題」で学習内容の定着を図り、単元末の「まとめ」では学習の整理ができるようになっている。
学校図書	・単元の学習前に小学校での既習内容を確認する場が設けられ、学習内容の系統性をふまえて構成されている。 ・目的意識を持って観察・実験に取り組めるように、導入の「話し合ってみよう」で自らの考えを表現、整理させている。
教育出版	・１年の冒頭に「理科学習の進め方」で、科学的に探求する過程が紹介され、学習方法について説明されている。 ・小単元末の「要点をチェック！」で、基礎的・基本的な学習事項の定着を自分で確認することができるようになっている。
啓林館	・別冊「マイノート」では、観察、実験に関連した課題に取り組んだり、基本から応用までの練習問題に取り組んだりできるようになっている。 ・多角的な視点に立って課題解決する力が育つように、「ためしてみよう」「別の方法にトライ」に、興味・関心を高める活動が配置されている。

その他の主な意見

・教育出版は、「ハローサイエンス」というコラムの中で、日常生活と関連させた記述が多くなっている。
・東京書籍の「from JAPAN ニッポンの科学」では、日本の技術の高さが取り上げられている。
・大日本図書では、３年生のまとめとして身のまわりの環境を調べ、持続可能な社会にする方法を考える章が設けられており、今まさに課題となっていることを自分の問題として学習することができるようになっている。

◇音楽（一般）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
教育出版	・歌唱共通教材について、自然や四季の美しさが感じられるよう、写真が大きく掲載されており、イメージをふくらませやすくなっている。 ・学習の内容が、基礎、広がり、活用の「三つの柱」で構成されている。 ・鑑賞領域では、文化、歴史や他の芸術との関連、音楽の多様性を感じ取ったり理解したりするための教材が選択されている。
教育芸術社	・学習目標が大きく示され、変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が配置されている。 ・日本の歌を楽しみ味わうことができるとともに、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるよう配慮されている。 ・各教材に関わる共通事項がマークで示されており、共通事項と関連させながら学習活動が展開されるよう工夫されている。

その他の主な意見
・教育出版では、表現や鑑賞などの学習活動が展開されるように題材構成が非常に工夫されている。 ・教育芸術社では、学校行事などで活用できる教材が載っている。 ・教育出版では、創作で無理なく学習活動が展開できるよう、紙面が工夫されている。 ・教育芸術社では、言語活動を促す文言を示し、生徒の表現力が育成されるよう配慮されている。

◇音楽（器楽合奏）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
教育出版	・「演奏の仕方を身につけよう」では、各楽器の説明が写真と言葉で示され、基本的な奏法や特性が理解しやすいよう工夫されている。 ・「Let's　Play」では、さまざまな楽器によるアンサンブルが可能となっている。また、表現活動のねらいに即したポイントが示されている。
教育芸術社	・和楽器を用いた平易なアンサンブル曲が取り上げられており、主体的に学習できるよう工夫されている。 ・アンサンブル教材については、共通事項と関連をもたせた演奏上のポイントが簡潔に示されており、主体的な学習活動が行われるよう工夫されている。

その他の主な意見

・教育出版では、アルトリコーダーとソプラノリコーダーのどちらでも学習できるように曲が工夫されており、取り組みやすい内容になっている。

・教育芸術社では、練習方法や演奏のポイントが記載されており、主体的に学習活動に取り組めるよう工夫されている。

・教育出版では、和楽器の奏法や歴史、演奏家の言葉が扱われ、和楽器を用いたアンサンブル曲が複数取り上げられている。

・教育芸術社では、和楽器の伝来ルートや他の楽器との比較などを掲載し、理解を深める内容となっている。また諸外国の民族音楽も取り上げられている。

◇美術

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
開隆堂	・美術と身の回りの生活や社会を結び付けられるような題材が取り上げられている。 ・絵画の表現において、主題選びから構図や奥行、光、色彩の表現方法など、一つのテーマからさまざまな表現ができるように工夫されている。 ・自己評価の観点が「学習の振り返り」として、各題材の末尾に４観点で示されている。 ・制作過程の材料・用具の扱い等、生徒の視点に立った写真や図が用いられており、図版にも生徒作品が多く取り上げられている。
光村図書	・生徒が制作した作品を身近に飾ったり、日常的に活用したりする例が示されている。 ・「題材の目標」と学習指導要領の「共通事項」に関する問いかけが左ページの上に示されている。また「道徳との関連」が左ページ下に示されている。 ・鑑賞学習の充実のため、「ゲルニカ」等が折り込みページや原寸大で掲載されている。 ・インデックスが目次と連動しており、学習指導要領の項目と「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」などを一覧にまとめたデザインとなっている。
日本文教出版	・Ａ４サイズよりも一回り大きな教科書により、一つ一つの図版が大きく、生徒作品も多く掲載されている。 ・「学びのねらい」が４観点に分けて左ページ上に示されている。 ・見開きページに掲載されている日本の作品において、紙の質感を変える工夫がされている。 ・発達の段階を考慮して「出会いと広がり」「学びの広がり」「美の追究」というテーマの３分冊になっている。

その他の主な意見
・開隆堂は、巻末の美術史年表で人の表現に絞って図版を掲載し、時代による表現の違いが分かるように示されている。 ・光村図書は、技法や用具の使い方等を参考にできるように、基礎的な資料を巻末にまとめて掲載している。

◇保健体育

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・「考えてみよう」において習得した知識を活用する学習活動ができるようになっている。 ・「やってみよう」では、自分の日常経験や小学校で学習したことなどを振り返られるようになっている。 ・ロールプレイング（＊１）やブレインストーミング（＊２）などの学習方法を取り入れ、自らの課題を解決できるようにしている。
大日本図書	・既習の知識を活用しながら解決を試みることができる活用問題「考えよう」を設定し、学習へのスムーズな導入が図られるようになっている。 ・各章の最後にある「学習のまとめ」では、その章で学習した重要語句や要点の再確認ができるようになっている。 ・「トピックス」では、学習内容に関連のある話題が取り上げられている。
大修館	・「Ｑｕｅｓｔｉｏｎ」では学習の動機づけとなる発問を行い、「Ｔｒｙ」では自ら考え判断し、表現する力が身に付くように課題が設定されている。 ・各単元の最後には「学習のまとめ」があり、学んだことを振り返って再確認ができるようになっている。 ・科学的に理解できるように、図表が掲載されている。
学研みらい	・「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」などにより、学習内容の把握から、基礎的、基本的な事項の習得と活用、探求、振り返り学習までの進め方がわかるようになっている。 ・「活用しよう」や「章のまとめ」の「活用の問題」では、生活と結びついた課題解決的な活動や問題が取り入れられている。 ・「学習の目標」や「キーワード」により、見通しをもって学習に取り組めるようになっている。
その他の主な意見	
・東京書籍では、「この教科書の使い方」により、教科書の構成を理解させて、生徒の自学自習につなげる工夫がされている。 ・学研みらいは、性に関する指導の部分で、イラストと写真をうまく組み合わせて説明がされており、生徒の発達の段階を考慮している。 ・大日本図書は、ＡＢ版になっており紙面が広く、写真が効果的に使われている。	

＊１　役割演技ともよばれ、ある場面を設定し、演技すること。

＊２　ある課題について、思いついた意見や考えをたくさん出し合い、解決方法などを考えるグループ活動。

◇技術・家庭（技術分野）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・冒頭のガイダンスにおいて、「技術は未来を創る」として、「社会、経済への貢献」「省資源、省エネルギー」「自然環境の保全」についての記述がある。 ・「材料と加工」に関して、実習例が豊富に掲載されており、各学校の実態に応じて選択できるように盛り込まれている。
教育図書	・冒頭において、「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」の４つの領域について、どのような学習をするかそれぞれ３つの項目に分けて、概論を掲載している。 ・巻末に「さまざまな工具」「発電方法の比較」「栽培概要の例」「ディジタル用語一覧」など、身近な技術の資料が提示されている。
開隆堂	・冒頭の「ガイダンス」において、身近な生活の中にさまざまな技術がいかされていることや、技術と環境との関連について記述がある。 ・各内容の冒頭に、各分野における技術の歴史について触れ、生活との関わりとその関連を示している。

その他の主な意見
・各者とも、教科書のはじめのところでガイダンス的内容が設定されており、技術を学習する目的と技術が果たす役割が示されており、３年間の学習の見通しを持たせられるよう配慮されている。 ・開隆堂は、ものづくりの進め方が丁寧に扱われていて、イメージがつかみやすい。 ・東京書籍は、さまざまな発電方式の仕組みと特徴や課題が一つの表になってまとまっており、比較しやすい。 ・開隆堂や東京書籍は、情報モラルについて系統立てて、著作権等も含めて学習することができる。

◇技術・家庭（家庭分野）

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・調理を行う上で必要な基礎技能が手順を追って解説され、それらを活用して、日常よく用いられる食品を使って取り組める実習例が取り上げられている。 ・学習内容がひと目で見渡せるように、ページは見開きで構成されている。１時間の授業展開を意識し、「目標」「始めの活動」「まとめの活動」が設けられている。
教育図書	・進んで生活を工夫していこうとする態度を育成するために、各章の「生活の課題と実践」では、自分のこととして身近に考えられる題材が取り上げられている。 ・単元の初めに設けられている「自立度チェック」や「クイズ」などが、その単元の内容を学ぶにあたっての動機づけとなるよう工夫されている。
開隆堂	・「生活の課題と実践」では、様々な題材が巻末にまとめられており、問題解決的な学習への取り組み方が具体的に提示されている。 ・各内容には「見開きの扉」が設けられ、学習のめあてと各学習項目が示されている。また、学習のまとめを記入するようになっているページ「学習のまとめ」が設けられている。

その他の主な意見

・各者とも、社会の変化に対応した課題が取り扱われている。また、「伝統や文化」に関連して、衣食住の生活に関わる内容が掲載されている。
・東京書籍は、小学校での学びの関連性を取り上げている箇所が多く、マークで示されている。
・調理実習などがある家庭科は、作業を安全に進めること、作業を衛生的に進めるために注意が必要であるが、開隆堂、東京書籍は、安全・衛生マークにより、具体的にわかりやすく示されている。

◇英語

	平成２７年度伊勢原市教科用図書採択検討委員会　調査報告及び検討内容の概要
東京書籍	・Unit、Daily Scene、Presentationの３部構成で、４技能の活動を通して基礎学力を積み上げ、総合的に自己表現力を育成する学習の流れになっている。 ・「Daily Scene」では、日常のいろいろな場面におけるコミュニケーションの仕方を学ぶことができる題材が提示されている。
開隆堂	・セクションごとに「Listen」「Speak」「Try」「Write」があり、そこで学習した内容を使って言語活動ができるように工夫されている。 ・各セクションの冒頭には、学習のめあてと「Basic Dialog」が示され、自然な会話の中で基礎的・基本的な学習事項の定着が図れるようになっている。
学校図書	・一般動詞から始まることで、小学校で慣れ親しんだ表現(I like・・・等)から学習するよう配慮されている。 ・「Talking Time」では日常のいろいろな場面におけるコミュニケーションの仕方を学び、「Action」では言語活動を通して目標文が身につけられるようになっている。
三省堂	・「Project」では４技能を統合的に活用し､自己表現活動ができるよう工夫されている。 ・学ぶ目標やプロセスを提示しながらステップを踏んで、基礎の定着から活用まで、無理なく４技能が身につくよう展開が図られている。また、巻末のCAN-DOリストでどのようなことができるようになったのか、生徒が自分で確認できる。
教育出版	・各レッスンのパートごとに、「Activity」があり、学習した内容を使って「聞く」「話す」「書く」活動ができるように工夫されている。 ・別冊「Essentials」では、基礎的・基本的な学習事項の定着を図るため、基本文や新出語句を各自で見直し、振り返りの学習が繰り返しできるよう工夫されている。
光村図書	・各ユニットのとびらに本文に関する「Listen」問題が、また各パートに内容に関する質問があり、「読む」活動に取り組めるようになっている。 ・「Word Network」では､月や季節・日付など小学校で慣れ親しんだ単語が扱われ、自己表現力を高める場となっている。
その他の主な意見	
・各者とも、小学校での活動を振り返り、イラストを見ながら単語や文を聞き取る活動が設定されており、小学校と中学校との接続への配慮がなされている。 ・開隆堂、東京書籍、三省堂、光村図書は版が大きくて読みやすくレイアウトされている。 ・三省堂は、題材がキャリア教育、平和教育、科学･環境教育、生命の尊重、正義と責任及び国際理解教育に結びつくものを中心に、生徒の知的好奇心に合致し感性に訴えるものが取り上げられている。	